

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2010年6月7日～6月11日)

発表日: 2010年6月4日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 日本経済短期チーム
TEL: 03-5221-4528

(6月7日～6月11日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
6月7日 (月)					
6月8日 (火)	8:50 4月国際収支 経常黒字(前年比) (原数値)	+122.1% 14,669 億円	— 13,000 億円	— 10,660 億円～15,906 億円	+65.1% 25,342 億円
	8:50 5月マネーストック M2(前年比)	+2.9%	+2.8%	+2.4%～+3.0%	+2.9%
	M3(前年比)	+2.2%	+2.1%	+1.9%～+2.3%	+2.2%
	広義流動性(前年比)	+1.6%	+1.6%	+1.4%～+1.8%	+1.6%
	8:50 5月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	▲1.7%
	13:30 4月特定サービス産業動態統計				
	14:00 4月景気動向指数 CI一致指数(前月差)	+1.2pt	+1.0pt	+0.7pt～+1.2pt	+1.5pt
	CI先行指数(前月差)	▲0.2pt	▲0.2pt	▲0.5pt～0.0pt	+4.2pt
	15:00 5月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI	—	—	—	
	先行き判断 DI	—	—	—	
6月9日 (水)	8:50 4月機械受注 船電除く民需 (前月比)	+2.0%	+1.4%	▲4.3%～+6.5%	+5.4%
	(前年比)	+7.4%	+7.2%	+0.6%～+12.1%	+1.2%
6月10日 (木)	8:50 1～3月期 GDP2 次速報 実質 GDP 成長率 (前期比)	+1.0%	+1.0%	+0.9%～+1.1%	+1.2%
	(同年率)	+4.2%	+4.2%	+3.5%～+4.7%	+4.9%
	名目 GDP 成長率 (前期比)	+1.0%	+1.0%	+0.9%～+1.2%	+1.2%
	GDP デフレーター (前年比)	▲3.0%	▲3.0%	▲3.6%～▲3.0%	▲3.0%
	8:50 5月企業物価指数 (前月比)	+0.1%	+0.1%	▲0.3%～+0.5%	+0.4%
	(前年比)	+0.3%	+0.3%	▲0.5%～+0.7%	▲0.2%
	14:00 5月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯)	—	—	—	42.0
6月11日 (金)					

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

【重要指標の当社予測とコメント】

4月国際収支・経常黒字 (原数値) 当社予想: 1兆 4669 億円 中央値: 1兆 3000 億円

4月の経常黒字額は14,669億円(前年比+122.1%)を予想する。既に発表された貿易統計では、中国向け輸出が堅調に推移したことに加え、米国や欧州向けの輸出も持ち直したことなどから、貿易収支の黒字は前年比で大幅に増加したと予想される。経常黒字の多くを占める所得収支は、黒字幅の減少が予想されるものの、総じてみれば経常黒字は緩やかな増加を継続するだろう。

(副主任エコノミスト: 藤代 宏一)

4月景気動向指数 CI一致指数/CI先行指数 (前月差) 当社予想: 前月差 +1.2pt/▲0.2pt 中央値: 同 +1.0pt/▲0.2pt

CI一致指数は前月差+1.2ポイントと、13ヶ月連続の上昇となり、景気回復が持続していることが示される見込み。また、内閣府によるCI一致指数の基調判断は、「改善を示している」が維持される可能性が高い。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

今月注目されるのは、C I 先行指数が前月差▲0.2 ポイントと、09 年 2 月以来となる前月比低下が予想されることである。C I 先行指数は、景気に対して半年程度先行する傾向があると言われるため、仮に 4 月以降、C I 先行指数の上昇が止まった場合、単純に考えると、2010 年 10－12 月期には C I 一致指数も変調をきたす可能性が出てくる。今後の景気を占う上で、先行指数の動向に注意が必要だろう。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

4 月機械受注・船舶電力除く民需（前月比） 当社予想：前月比 +2.0% 中央値：同 +1.4%

前月比+2.0%と、2ヶ月連続の増加を予想する。仮に予想通りの結果となれば、4月の値は1－3月期を4.2%上回ることになる。機械受注が緩やかに持ち直していることが確認されるだろう。先行きについても、非製造業が伸び悩む一方、製造業に牽引される形で機械受注は増加傾向が続くとみられる。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

1－3 月期 GDP 2 次速報・実質 GDP 成長率 当社予想：前期比年率 +4.2% 中央値：同 +4.2%

前期比年率+4.2%と、1 次速報段階の前期比年率+4.9%から下方修正が予想されるが、年率 4 %を超える高成長であることに変わりはなく、景気認識の変更をもたらすものにはならないだろう。

法人企業統計の設備投資が前期比▲2.6%と下振れたことを受け、設備投資は前期比+0.1%と、1 次速報段階の同+1.0%から下方修正されると予想する。企業収益の回復や企業マインドの改善を背景として設備投資が緩やかな増加傾向にあることには変わらないが、その回復度合いは従来想定されていたよりも鈍かったということになる。

また、法人企業統計において、原材料在庫と仕掛品在庫が下振れたことから、在庫投資の対 GDP の前期比寄与度は+0.1%ポイントと、1 次速報（同+0.2%ポイント）から下方修正を予想する。その他、公的固定資本形成は前期比▲0.5%と、1 次速報段階の同▲1.7%から上方修正されると予想する。

(主任エコノミスト：新家 義貴)

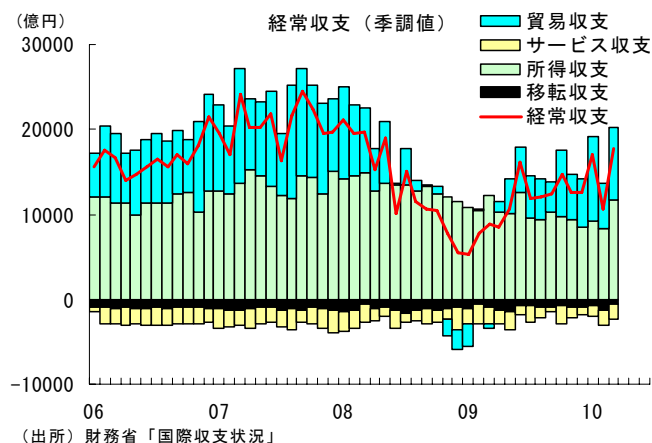
5 月企業物価指数・国内企業物価（前年比） 当社予想：前年比 +0.3% 中央値：同 +0.3%

5 月の国内企業物価は前月比+0.1%、前年比+0.3%と予想する。仮に予測どおりならば、前月比でのプラスは6ヶ月連続、前年比でのプラスは08 年 12 月以来となる。世界経済の回復を背景とした国際商品市況高をうけ、企業物価は緩やかに上昇している。前月比では、素原材料高と需給の引き締りをうけ、鉄鋼、化学製品、石油・石炭製品など川上業種の品目が引き続き上昇する見込み。一方、一般機械、輸送用機器、情報通信機器など加工業種が引き続きマイナスを継続する見込み。

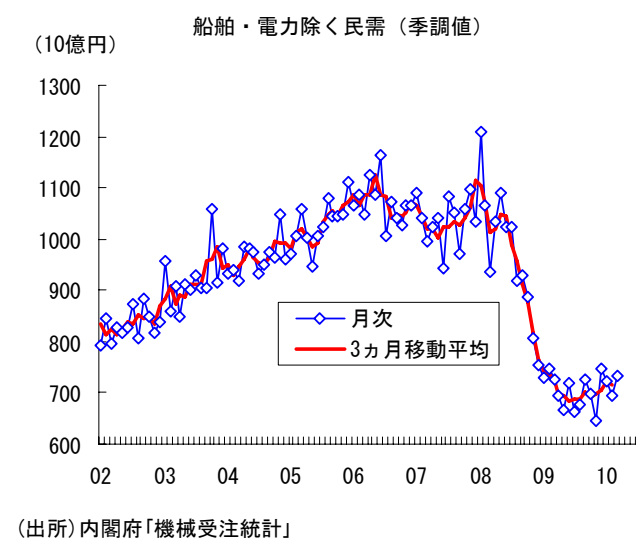
(副主任エコノミスト：藤代 宏一)

以上

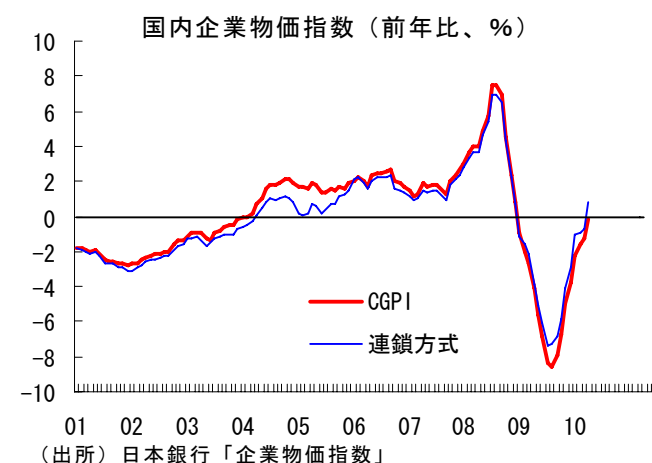
図表 1



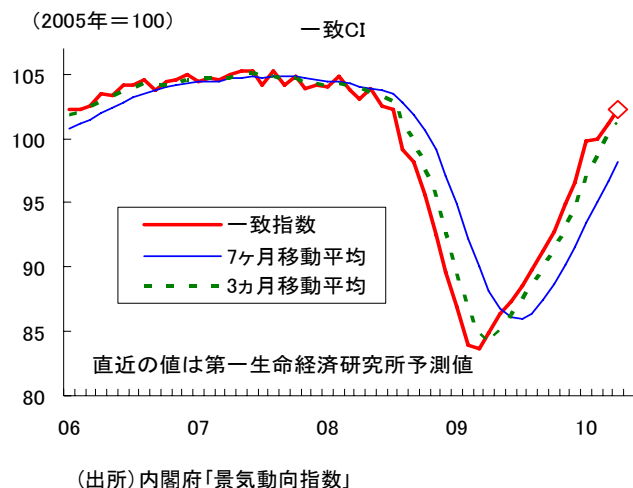
図表 3



図表 5



図表 2



図表 4

2010年1-3月期GDP2次速報予測

2次速報予測値

	(%)
実質GDP	1.0
(前期比年率)	4.2
内需寄与度	0.3
(うち民需)	0.3
(うち公需)	0.1
外需寄与度	0.7
民間最終消費支出	0.3
民間住宅	0.3
民間企業設備	0.1
民間在庫品増加(寄与度)	0.1
政府最終消費支出	0.5
公的固定資本形成	▲ 0.5
財貨・サービスの輸出	6.9
財貨・サービスの輸入	2.3
名目GDP	1.0
(前期比年率)	4.2

1次速報実績

	(%)
実質GDP	1.2
(前期比年率)	4.9
内需寄与度	0.6
(うち民需)	0.5
(うち公需)	0.0
外需寄与度	0.7
民間最終消費支出	0.3
民間住宅	0.3
民間企業設備	1.0
民間在庫品増加(寄与度)	0.2
政府最終消費支出	0.5
公的固定資本形成	▲ 1.7
財貨・サービスの輸出	6.9
財貨・サービスの輸入	2.3
名目GDP	1.2
(前期比年率)	4.9

※断りの無い場合、前期比(%)

6月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
5/31 4月鉱工業指数(8:50) 4月毎月勤労統計(10:30) 4月住宅着工統計(14:00) 白川日銀総裁講演 (インド)1-3月期GDP	6/1 5月軽自動車販売(14:00) 5月自動車販売(14:15) 10年利付国債 (米)5月ISM製造業景気指数 (米)4月建設支出 (欧)4月失業率 (欧)5月PMI製造業(確) (独)5月失業率 (英)5月PMI製造業 (英)4月消費者物価 (豪州)金融政策委員会	2 5月マネタリーベース(8:50) (米)4月中古住宅販売保留 (米)5月自動車販売台数 (豪州)1-3月期GDP (タイ)金融政策委員会	3 1-3月期法人企業統計(8:50) 須田日銀審議委員挨拶 (米)4月製造業受注 (欧)5月PMIサービス業(確) (欧)4月小売売上高 (英)5月PMIサービス業	4 4月家計消費状況調査(14:00) (米)5月雇用統計 (欧)1-3月期GDP(確) (韓国)1-3月期GDP(確) (インドネシア)金融政策委員会
7	8 4月国際収支(8:50) 5月マネーストック(8:50) 5月貸出・資金吸収(8:50) 4月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 4月景気動向指数(14:00) 5月景気ウォッチャー調査(15:00) 30年利付国債 (フランス)1-3月期GDP	9 4月機械受注統計(8:50) (米)ページブック	10 1-3月期GDP2次速報(8:50) 5月企業物価(8:50) 5月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)4月貿易収支 (米)5月財政収支 (欧)ECB理事会 (仏)4月鉱工業生産 (英)BOE金融政策決定会合 (ニュージー)金融政策委員会 (韓国)金融政策委員会 (フランス)金融政策委員会	11 (米)5月小売売上高 (米)6月ミシガン大消費者センチ(速) (米)4月企業在庫 (英)4月鉱工業生産 ※(ロシア)1-3月期GDP(確)
14 5月投入・産出物価指数(8:50) 4-6月期法人企業景気予測調査(8:50) 4月鉱工業指数・確(13:30) 4月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～15日) (欧)4月鉱工業生産	15 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)6月NY連銀指数 (米)4月対米証券投資 (米)6月NAHB住宅市場指数 (欧)4月貿易収支 (独)6月ZEW景況指数 (英)5月消費者物価	16 4月第3次産業活動指数(8:50) 4月毎月勤労統計・確(10:30) 6月金融経済月報(14:00) 20年利付国債 (米)5月鉱工業生産 (米)5月生産者物価 (米)5月住宅着工件数 (欧)5月消費者物価 (英)5月失業率	17 6月ロイター短観(8:30) 1-3月期資金循環(8:50) 4月景気動向指数改訂(14:00) 4月建設総合統計(14:00) (米)5月消費者物価 (米)6月フィラ連銀指数 (米)5月景気先行指数	18 金融政策決定会合議事要旨(5月10,20,21日分)(8:50) ※5月全国百貨店売上高(14:30) (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)金融政策委員会
21 4月全産業活動指数(13:30) ※5月チェーンストア販売統計(14:00) 5月コンビニエンスストア統計(16:00) ※(欧)5月製造業PMI(速) ※(欧)5月サービス業PMI(速) ※(台湾)金融政策委員会	22 ※6月月例経済報告 (米)5月中古住宅販売件数 (米)4月FHFA住宅価格指数 (独)6月Ifo景況指数	23 白川日銀総裁挨拶 (米)5月新築住宅販売件数 (米)FOMC	24 5月貿易統計(8:50) 5月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債 (米)5月耐久財受注 (ニュージー)1-3月期GDP	25 5月消費者物価・全(8:30) 6月消費者物価・都(8:30) (米)1-3月期GDP(確) (仏)1-3月期GDP(確)
28 5月商業販売統計(8:50) (米)5月個人所得・消費 (米)6月ミシガン大消費者センチ(確) (独)6月消費者物価(速) ※(オーストラリア)4-6月期GDP	29 5月家計調査(8:30) 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月鉱工業指数(8:50) (米)6月CB消費者信頼感指数	30 5月毎月勤労統計(10:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (欧)6月消費者物価(速) (独)6月失業率 (英)1-3月期GDP(確) (トルコ)1-3月期GDP	7/1 6月日銀短観(8:50) 6月軽自動車販売(14:00) 6月自動車販売(14:15) 平成22年路線価 (米)5月中古住宅販売保留 (米)6月ISM製造業景気指数 (米)5月建設支出 (米)6月自動車販売台数 (欧)6月製造業PMI(確) (英)6月製造業PMI	2 6月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) (米)6月雇用統計 (米)5月製造業受注 (欧)5月失業率

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
6/28 5月商業販売統計(8:50) (米)5月個人所得・消費 (米)6月ミシガン大消費者センチ (確) (独)6月消費者物価(速) ※(ベトナム)4-6月期GDP	29 5月家計調査(8:30) 5月労働力調査(8:30) 5月一般職業紹介状況(8:30) 5月鉱工業指数(8:50) (米)6月CB消費者信頼感指数	30 5月毎月勤労統計(10:30) 5月住宅着工統計(14:00) (米)6月シカゴPMI (欧)6月消費者物価(速) (独)6月失業率 (英)1-3月期GDP(確) (トルコ)1-3月期GDP	7/1 6月日銀短観(8:50) 6月軽自動車販売(14:00) 6月自動車販売(14:15) 平成22年路線価 (米)5月中古住宅販売保留 (米)6月ISM製造業景気指数 (米)5月建設支出 (米)6月自動車販売台数 (欧)6月製造業PMI(確) (英)6月製造業PMI	2 6月短観業種別計数及び調査 全容(8:50) 6月マネタリーベース(8:50) (米)6月雇用統計 (米)5月製造業受注 (欧)5月失業率
5 5月家計消費状況調査(14:00) (英)6月サービス業PMI (インドネシア)金融政策委員会	6 5月景気動向指数(14:00) 10年利付国債 (欧)6月サービス業PMI(速) (豪州)金融政策委員会	7 (欧)1-3月期GDP(確)	8 5月機械受注統計(8:50) 5月国際収支(8:50) 6月マネーストック(8:50) 6月貸出・資金吸収(8:50) 5月特定サービス産業動態統計調査(13:30) 6月景気ウォッチャー調査 30年利付国債 (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (英)5月鉱工業生産 (マレーシア)金融政策委員会	9 (独)6月消費者物価(確) (仏)5月鉱工業生産 (韓国)金融政策委員会
12 7月ロイター短観(8:30) 6月企業物価(8:50)	13 5月鉱工業指数・確(13:30) 6月消費動向調査(14:00) 5年利付国債 (米)5月貿易収支 (米)6月財政収支 (独)7月ZEW景況指数 (英)6月消費者物価	14 6月投入・産出物価指数(8:50) 5月商業販売統計・確(13:30) 金融政策決定会合(～15日) (米)6月小売売上高 (米)5月企業在庫 (欧)6月消費者物価 (欧)5月鉱工業生産 (英)6月失業率 (タイ)金融政策委員会	15 日銀総裁定例記者会見(15:30) (米)7月NY連銀指数 (米)6月鉱工業生産 (米)6月生産者物価 (米)7月フィア連銀指数 (中国)4-6月期GDP (フィリピン)金融政策委員会	16 5月第3次産業活動指数(8:50) 5月毎月勤労統計・確(10:30) 7月金融経済月報(14:00) 5月建設総合統計(14:00) (米)6月消費者物価 (米)5月対米証券投資 (米)7月ミシガン大消費者センチ (速) (欧)4月貿易収支 (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)金融政策委員会
19 (米)7月NAHB住宅市場指数	20 5月景気動向指数改訂(14:00) ※7月月例経済報告 ※6月チェーンストア販売統計 (14:00) ※6月全国百貨店売上高(14:30) 6月コンビニエンスストア統計(16:00) (米)6月住宅着工件数	21 金融政策決定会合議事要旨(6月14,15日分)(8:50) ※7月主要銀行貸出アンケート調査(8:50) ※(欧)6月製造業PMI(速) ※(欧)6月サービス業PMI(速)	22 5月全産業活動指数(13:30) 20年利付国債 (米)6月景気先行指数 (米)6月中古住宅販売件数 (米)5月FHFA住宅価格指数 (南ア)金融政策委員会 (ブラジル)金融政策委員会	23 (独)7月Ifo景況指数 (英)4-6月期GDP(速) ※(韓国)4-6月期GDP(速)
26 6月貿易統計(8:50) (米)6月新築住宅販売件数	27 6月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債 (米)7月CB消費者信頼感指数 (インド)金融政策委員会	28 (米)ベージュブック (米)6月耐久財受注 (独)7月消費者物価	29 6月商業販売統計(8:50) (独)7月失業率 (ニュージー)金融政策委員会	30 6月消費者物価・全(8:30) 7月消費者物価・都(8:30) 6月家計調査(8:30) 6月労働力調査(8:30) 6月一般職業紹介状況(8:30) 6月鉱工業指数(8:50) 6月住宅着工統計(14:00) (米)4-6月期GDP(速) (米)7月シカゴPMI (米)7月ミシガン大消費者センチ (確) (欧)6月失業率 (欧)7月消費者物価(速)

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。